

平成 23 年度「中城御殿跡」現地説明会資料

平成 23 年 12 月 18 日 (日)

沖縄県立埋蔵文化財センター

1. はじめに

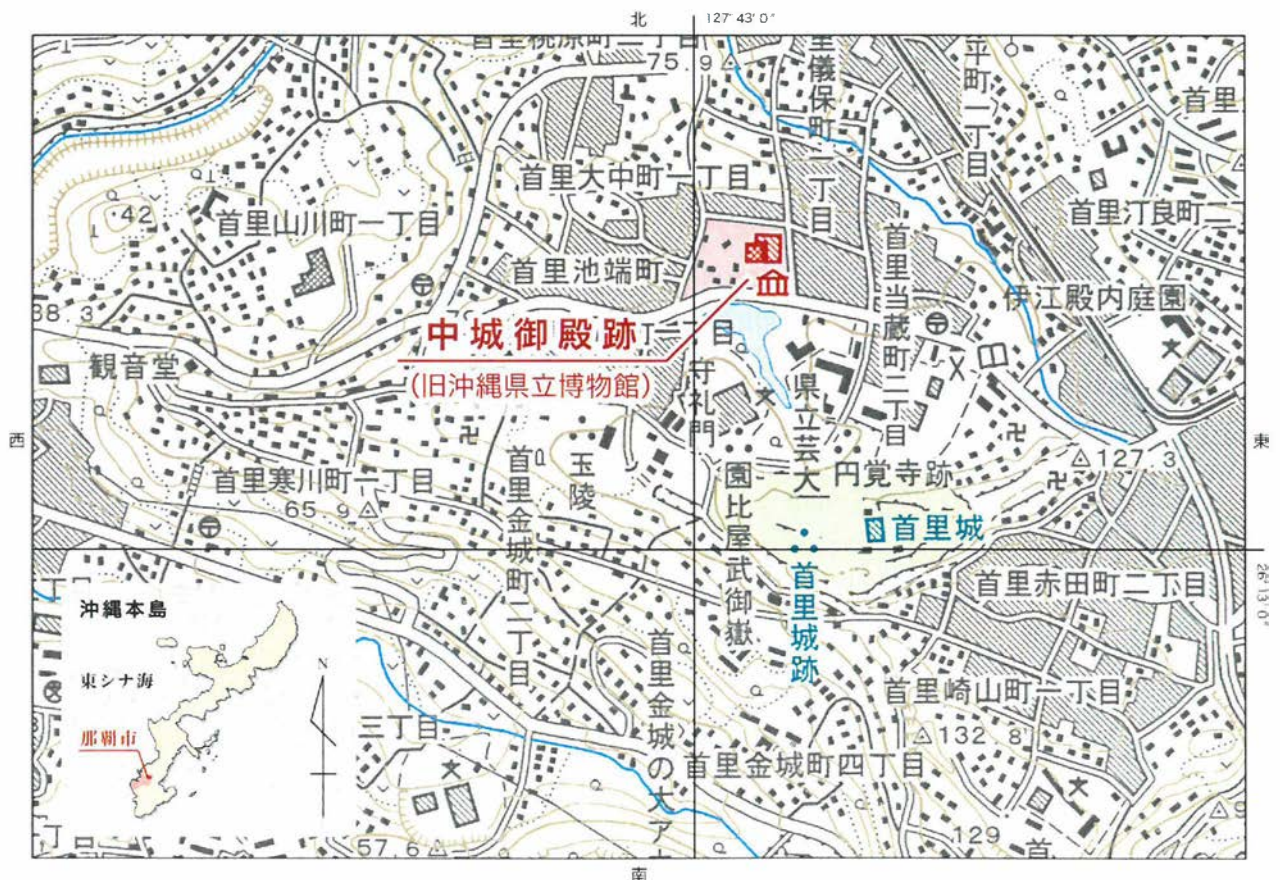
沖縄県立埋蔵文化財センターでは、平成 19 (2007) 年度から「中城御殿跡」の発掘調査を実施しています。今回の調査は、建物跡などの遺構が、どの範囲・状態で残されているかを確認する遺構確認調査として行われています。この調査成果は中城御殿跡を活用していくための基礎資料となります。

2. 調査の概要

- ・遺跡名：中城御殿跡
- ・所在地：那覇市首里大中町1丁目1番地
- ・調査目的：遺構の範囲確認調査
- ・調査面積：311 m²
- ・調査期間：平成 23 年 8 月～平成 23 年 12 月

3. 中城御殿とは

中城御殿は、次の琉球国王となる世子が暮らした邸宅跡を指します。名称の由来は、王子が王世子（王位継承者）になると、領地として中城間切を下賜され、中城王子あるいは中城御殿と称されたことによります。当初その建物は、17 世紀前半に現首里高等学校敷地内（現首里真和志町）に創建され、その後 1875 (明治 8) 年に現在の首里大中町に移転します。今回開催します現地説明会の対象となるのは、移転後の中城御殿を指します。



第 1 図 中城御殿の位置

4. 調査の成果（中間報告）

トレンチ5

取納座、中城大親、石垣があった場所です。
取納座の軒先にあった石畳と、そこから南に伸びる石垣が残っていました。またサンゴ片を敷いた当時の地面が残っていました。



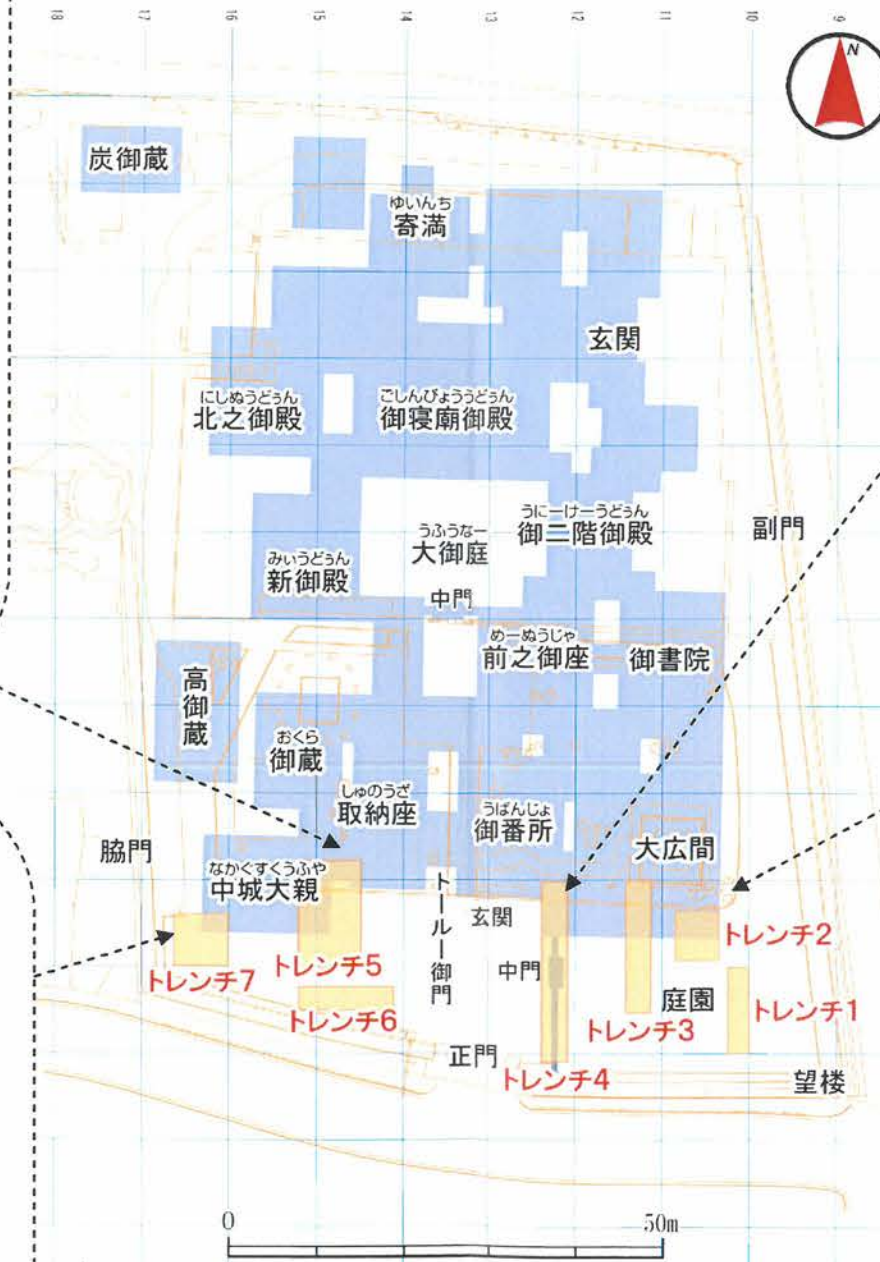
石畳、サンゴ片を敷いた地面（左）、石垣（上）（東から撮影）

トレンチ7

中城大親があった場所です。
30cm 前後の石灰岩礫を多く含んだ造成層を確認しました。またトイレ跡と見られる石組みを確認しました。



トレンチ7（南から撮影）



第2図 中城御殿トレンチ配置図、間取り復元図

トレンチ4

御番所とそこから南に伸びる石垣があった場所です。
御番所の軒先にあった石畳とそこから南に伸びる建物のラインが残っていました。また石垣は一番下の石が一部残っていました。



石畳（右上）と石垣跡（南東から撮影）

トレンチ2

大広間の南東部にあたります。
軒先のラインを示す石と掘り込みが見つかりました。



トレンチ2（西から撮影）

5. まとめ

今回の調査において、大広間や御番所、取納座、中城大親などの建物跡や石垣跡を確認しました。また、正門の東側（トレンチ1～4）では地山のクチャが確認されましたが、西側（トレンチ5～7）ではクチャが確認されず、大規模な土地のかさ上げが行われていることがわかりました。

これらの成果は、今後埋蔵文化財センターへ持ち帰り、図化・トレース・写真撮影・集計などの整理作業のほか、自然科学分析などを行い、調査報告書としてまとめられることとなります。

・参考資料

第1表 中城御殿跡関連年表

西 暦	元 号	事 項
1621～40	尚豊王代	尚豊王代 中城御殿が現県立首里高校の地に建設される
1870年	尚泰23/明治3年	中城御殿が龍潭北側に新しく造営されることが決まる
1875年	尚泰28/明治8年	世子・中城王子が新築された屋敷に移る
1879年	尚泰32/明治12年	廃藩置県 首里城を明け渡し尚泰王以下中城御殿に移る
1884年	明治17年	中城御殿ほか21ヶ所の敷地・建物など尚泰の私有財産と確定される
1945年	昭和20年	3月下旬 宝物を3つの大金庫へ移す
		4月6日頃 中城御殿が米軍の砲撃をあびて炎上
		4月8日頃 火災をのがれた御後絵(肖像画)を御嶽岩の後ろに移す
		4月10日頃 日本軍が殿を機関銃陣地にする(上之御殿、防空壕など)
		戦後 一時引き揚げ者のバラックが建つ
1950年	昭和25年	1月 首里市役所が中城御殿跡に移転する
		7月 首里市営バスが営業所を同敷地内に設置する(～66年まで)
1954年	昭和29年	首里市が那覇市に合併され首里市役所が首里支所となる
1965年	昭和40年	琉球政府が敷地購入
1966年	昭和41年	首里支所が当蔵に移転 首里バス(1951年に民営化)が当蔵へ移転
		10月 米国の援助により新敷地に鉄筋コンクリート建の新館を建設 龍潭池畔にあった「琉球政府立博物館」が移転 11月に開館
1972年	昭和47年	5月 日本復帰にともない「沖縄県立博物館」と改称する
1991年	平成3年	県立博物館による石牆部分の第1次発掘調査実施
1992年	平成4年	県立博物館による石牆部分の第2次発掘調査実施
1994年	平成6年	県立博物館による石牆部分の第3次発掘調査実施
2006年	平成18年	3月 沖縄県立博物館が新館移転(おもろまち)のため休館
2007年	平成19年	県立埋蔵文化財センターによる調査開始

〈参考・引用文献〉

沖縄県立博物館 1992 『旧中城御殿関係資料集』沖縄県立博物館*

海洋博記念公園管理財団 2010 『首里城尚家関係者ヒアリング調査業務報告書』海洋博記念公園管理財団